



A 困った時はお互い様。遠慮せず頼って

Q ボランティアを頼む際の心構えは？

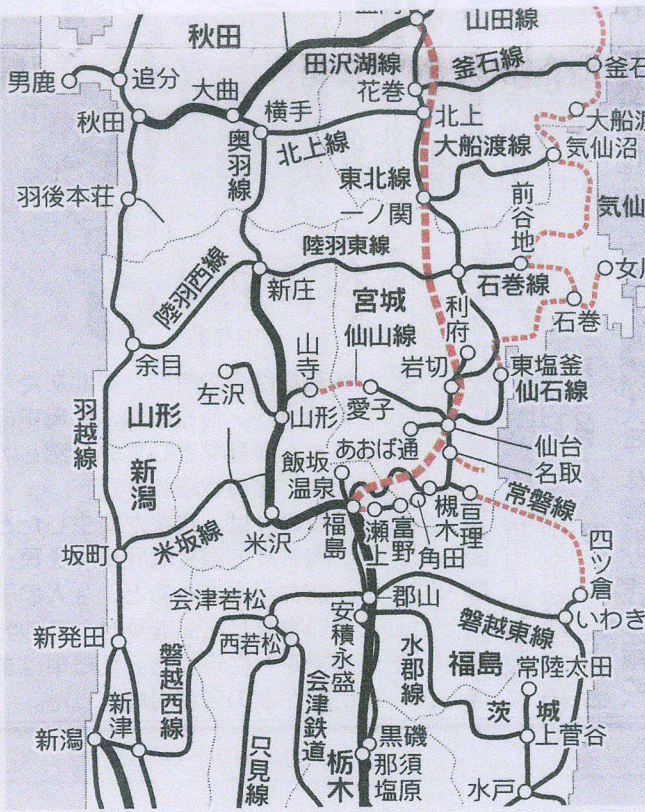
04年の新潟県中越地震で避難所生活を経験した

※21日予定含む

後、各地でボランティア活動を続けるNPO法人「おぢや元氣プロジェクト」（同県小千谷市）の若林和枝理事長に聞きま

した。避難所に必要な物資が不足する中、「私は大丈夫だから」と我慢する人がいます。自分だけ満たされることに罪悪感を感じたり、外からのボランティアに距離を感じて「（物資を）ください」

運行中
不通



- 被災県緊急支援対策本部 ☎0120・113・926
- 生活再建・産業復興局 ☎017・734・9581
- 泊施設で受け入れ。専用窓口 ☎019・629・5216
- 災害受入支援チーム ☎018・860・4504
- 築住宅課 ☎023・630・2638
- 住宅確保対策班 ☎025・282・1748
- 難対策班 ☎029・301・6735
- 窓口一道の駅「那須高原友」 ☎0287・78・3033
- 難者受入れ支援センター ☎0270・26・9420～1
- 合同防災部 ☎03・5320・4007
- 災害支援担当 ☎045・210・5970
- 難者総合相談センター ☎048・601・2220
- 避難者センター ☎043・223・3411
- 援対策室 ☎055・223・1519
- 受入相談 ☎026・235・7407

バスの運行状況

- > ☎019・654・5814
- 盛岡—福島などで運行 ☎019・654・7755
- 大船渡、陸前高田などを結ぶ運行。陸前高田市内の鳴田小学校、的場、国道福方方面への路線を再開(当面無一関は22日から臨時運行) > ☎022・771・5310
- 沼、仙台—石巻などを運行 ☎022・242・1234
- JR仙台駅前で直行バス運行 > ☎022・707・2235
- JR名取駅で代行バス運行 ☎024・531・2706 (福島支社) ☎024・943・1651 (郡山支社)
- 全路線で復旧

内線の運航状況

- に仙台—伊丹を21日から、中部を27日から各1往復臨時21日の運航予定。便数は1
- 復▽伊丹便—4往復▽新千(いずれも日本航空)
- 航空4往復▽伊丹便—日本全日空2往復▽新千歳便—復、北海道国際航空1往復日空1往復
- 空3往復、日本航空2往復本航空2往復、全日空1往復
- 往復▽伊丹便—5往復(い)

主な鉄道の運行状況

- 新幹線
 - <東北新幹線>東京—福島、盛岡—新青森で運行。一ノ関—盛岡は23日、福島—仙台は25日、仙台—一ノ関は30日ごろ再開予定。25日再開予定の仙台—東京は「はやて」など1日44往復。28日乗車分までの指定席は23日午前11時から発売
 - <山形新幹線>全線(東京—新庄)で運行
 - <秋田新幹線>盛岡—秋田で運行。東京—盛岡を含む全線は今月末以降に再開予定
- JR在来線
 - ※21日は東北線の仙台—一ノ関、岩切—利府で運転再開予定。東北線は全区間で再開となる
 - <仙山線>愛子—山寺は23日
 - <常磐線>上野—いわきの特急は今月下旬に再開
- その他
 - <三陸鉄道北リアス線>宮古—小本、陸中野田—久慈で運行
 - <仙台市地下鉄>29日に全線再開予定。富沢—台原は運行
 - <阿武隈急行>槻木—角田と富野—瀬上で運行

と頼むのが心理的負担になる。ボランティアには過去の災害などで助けてもらった恩返しに足を運ぶ人も大勢います。困った時は助け合うもの。気軽に思いを打ち明けてください。互いを理解し信頼感を高め合う早道にもなります。

避難所では自治体職員が物資配分などを指揮するものと思いがちですが、職員自身が被災者で支援が行き届かないこと

もありです。ですから被災者側は行政に頼り切るのではなく、ボランティアと連携して避難所を運営するくらいの心構えも必要です。信頼のおける働き盛りの被災者を「責任者」に据えれば、ボランティアとの連絡調整が円滑に進むのではないのでしょうか。

ミニニュース

■県職員の復興記録を公開 95年の阪神大震災の復旧・復興に取り組んだ兵庫県の職員らが直面した課題や解決策をまとめた記録集「翔べフェニックス 創造的復興への群像」が、ホームページ(<http://www.hemr121.jp/phoenix/index.html>)で全文公開された。

記録集は発生10年を機に作成。これまで販売されていたが、東日本大震災被災地の自治体の参考になればと、ひょうご震災記念21世紀研究機構(神戸市)が公開を始めた。復興計画、財政計画、生活復興、廃棄物処理、仮設住宅、住宅復興、新産業の創造、インフラ復興、まちづくりなど24のテーマを設定。担当者や学識者らが、当時の資料やメモを基に行動を記録した。悩みや迷い、直面した壁などについても赤裸々に記している。

の生活支援などの対応に明け暮れました。



寄せましたが「負けるものか」という気持ちもある

ことを願っています。【聞き手・今井美津子】